

「女性視点からの防災ワークショップ」報告書

北海道建築士会釧路支部女性委員会 須藤志津子

防災のワークショップ及び防災ハグは近年行政等色々な団体で行われていますが、実際の災害避難、又避難所運営において担当者の殆どが男性の為、女性の立場からの視点が少ないように思われます。

今回、北海道建築士会女性委員会では色々な立場の女性に集まって頂き、意見交換をし、実際に避難する時点で最低実行すること、避難所で必要な物品等を、抽出することが出来たらと思い開催しました。

「防災ワークショップ」は全3回開催を予定しており、最終的にはワークショップの内容をまとめ「自分たちのすべきこと」「社会の提言」を検討します。

第1回目 様々な立場の女性から防災に関する意見交換（被災した経験からの意見等）

日時 令和元年11月30日 13:30~15:30

場所 釧路市幸町9-1「交流プラザさいわい208号室」

参加人数 20名

出席者 釧路東高校4名（ボランティア部2名、生徒会2名）

北海道釧路総合振興局

釧路市地域包括支援センター

高校教諭

北海道建築士会釧路支部

他

実施内容及び流れ

4グループに分かれ

1、昨今の災害、災害時の女性に関わる問題点（事例説明）

事例として2011年東日本大震災、2016年の台風10号被害、2018年西日本豪雨、2018年北海道胆振東部地震、2019年台風19号被害の写真をスライドで写し説明しました。

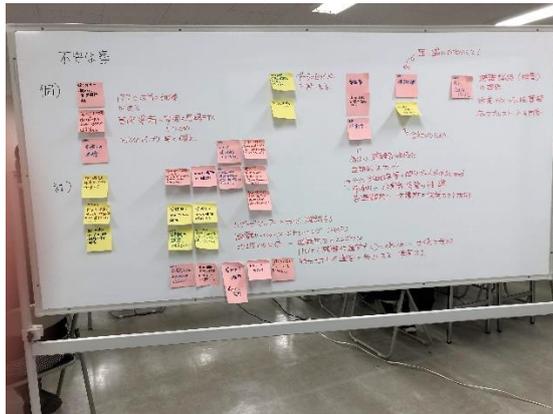


昨今の災害の事例説明

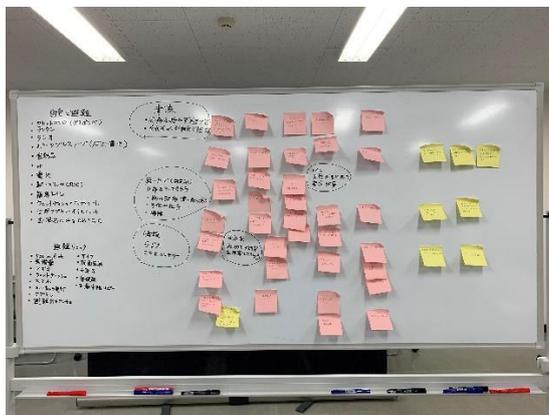


参加者の女性達

- 2、アイスブレイキングタイム 自己紹介、「ブラックアウトの時に困ったこと」
- 3、ワークショップその1 「わたしの不安とみんなの不安」を考える
 - *不安なことをA個人、B仕事上(学校)をピックアップし付箋に意見を書く
 - *グループ討議
 - *まとめ



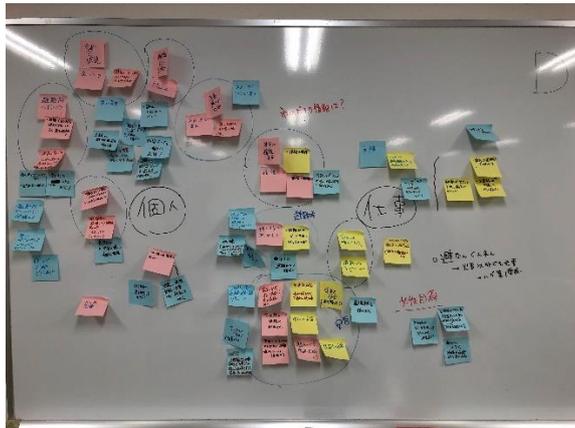
A 班の不安なことの内容ピックアップ



B 班の不安なことの内容ピックアップ



C 班の不安なことの内容ピックアップ



D 班の不安なことの内容

4、ワークショップその2 「不安を解消する為にできること」を考える

*その1の不安をどうしたら解消できるか検討し、具体的に対処するのはA 自分、B 組織、C 行政に分ける

5、グループ発表



A 班発表



C 班発表



D 班発表

今回、このようなワークショップを実施して感じたことは、様々な立場の女性の意見を聞いたことは貴重な体験となりました。

特に高校生には活発な意見を発表して頂きました。そして実際の災害時には、高校生等若い方たちに色々な協力が期待できると感じました。

次回は2月8日(土)を予定しております。次回はもっと様々な立場の女性に多く参加して頂ければと思います。特に今回なお参加者にはいなかった、乳幼児のいるお母さんたちにも出席して頂きたいと思いました。